

## 平成26年度 第1回保健医療従事者研修会開催要領

### 1. 目的

大地震発生時に、自分自身や家族、また患者をはじめ住民のいのちを守るためには、日頃から災害を適度に怖れて備えることが必要だと多くの人が認識している。しかし、そう認識しながらも、多忙な日常業務の中では、担当任せや後回しに考えられやすい側面がある。

そこで、滋賀県内の地震災害、他県での災害支援活動、病院勤務中の被災経験などについて学ぶことにより、それぞれが災害発生時にどんな役割を担うべきかを考え、今後の災害対策や災害支援に貢献することを目的とする。

### 2. 内容

「大地震に備える」 ～ 適度に怖れるのはむずかしい、だから学びたい ～

座 長：滋賀県健康医療福祉部 次長 角野 文彦氏

演 題1：「地震災害と身近な防災対策」 滋賀県防災危機管理局 石黒 達也 氏

演 題2：「災害時における要配慮者の避難支援について」 滋賀県健康福祉政策課 土淵 孝氏

演 題3：「生活を支える作業療法

～東日本大震災の活動から近畿での連携～」 滋賀県作業療法士会 山本 尚美氏

演 題4：「被災体験から学ぶ医療者としての教訓」 滋賀医科大学医学部附属病院 今井 方丈氏

### 3. 日 時 平成26年 8月9日（土曜日） 13時30分～16時30分

13：00～ 開場

13：10～13：30 受付

13：30～13：40 オリエンテーション、あいさつ

13：40～14：00 「地震災害と身近な防災対策」

14：00～14：20 「災害時における要配慮者の避難支援について」

14：20～14：50 「生活を支える作業療法～東日本大震災の活動から近畿での連携～」

14：50～15：00 休憩（10分）

15：00～16：00 「被災体験から学ぶ医療者としての教訓」

16：00～16：25 対談・質疑応答（25分）

16：25～16：30 まとめ

16：30 終了

4. 場 所 草津市立市民交流プラザ5階大会議室（滋賀県草津市野路一丁目17番地の2）

5. 対象者 県内保健医療従事者等

6. 主 催 公益財団法人滋賀県健康づくり財団

7. 共 催 公益社団法人滋賀県放射線技師会 公益社団法人滋賀県臨床検査技師会  
公益社団法人滋賀県理学療法士会 一般社団法人滋賀県作業療法士会  
滋賀県市町保健師協議会

8. 後 援 滋賀県